

希少品種米ササシグレ～手間と真心を込めて～

「優しい甘みと爽やかな香り、ふわりとした食感の優しい味わいが楽しめる」。

石巻市桃生町で水稻17畝、「スリムねぎ」で知られるこねぎ60畝を栽培する佐々木拓郎さんはササニシキの交配親で、生産量が非常に少ない希少なコメ「ササシグレ」を栽培している。

県の農業大学校を卒業後、家業の農家を継いだ佐々木さんは、作付けしていたササニシキについて調べるうちにササシグレに興味を持ち「親勝りと評価を受けたササニシキも、唯一味だけはササシグレを超えられなかったというエピソードに心惹かれ、栽培を始めた」という。

佐々木さんはこの品種を農薬と化学肥料を不使用で栽培しており「有効な雑草対策がないので、こまめな除草作業に苦労している」と語る。

土づくりには廃棄野菜をほ場にすき込み、有機物の含有量を上げる試みをしている。ながら循環型農業を目指している。

ササシグレは自身のホームページなどで販売しており「農業体験やファーマーズマーケットなど、消費者との交流を積極的に行い、多くの人にお米を届けたい」と話す。

### 佐々木さんと双子のこども達



### 子どもたちの名前を付けたササニシキとササシグレ



【記事提供】石巻市農業委員会